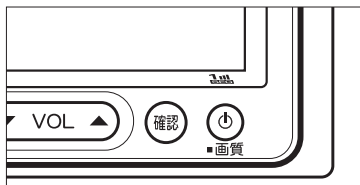




電源の入れ方・音量調整のしかた

オーディオ機能のオン・オフや音量の調整ができます。

1 電源の入れ方

オーディオの電源のオン・オフを行うことができます。



- (1) エンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) にします。
- (2)  を押すと電源がオンになります。
 -  スイッチをもう一度押すと電源はオフになります。

2 音量調整のしかた

音量の調整を行うことができます。



- (1) VOL ボタンで音量を調整します。
 - VOL 「▲」またはVOL 「▼」を押します。

お知らせ

- VOL ボタンは短く押すと1ステップずつ音量が変わり、長く押すと手をはなすまで音量が変わり続けます。
- ボリュームが最大（最小）になると、それ以上の音量は変わりません。
- ワンセグ（テレビ）、AUXのボリュームは、その他のオーディオのボリュームとは別に調整することができます（P.7-9、7-41参照）。



注意

走行中の操作は安全運転に支障がないよう十分注意して行ってください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。

お知らせ

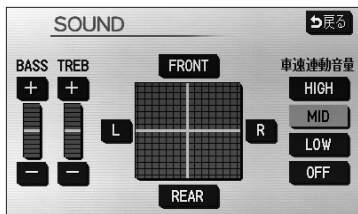
オーディオを聞いているときに、車内または車の近くでデジタル携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがあります。故障ではありません。

音の調整

前後左右の音量や音質の調整を行ったり、自動で音量を調節するレベルを設定することができます。

1 前後音量／左右音量を調整するには

音量のバランスを調整することができます。



(1) 各モードの操作画面を表示させているときに **SOUND** にタッチします。

■ 前後音量を調整する

前側音量を強調する場合は **FRONT**、後側音量を強調する場合は **REAR** にタッチします。

■ 左右音量を調整する

右側音量を強調する場合は **R**、左側音量を強調する場合は **L** にタッチします。

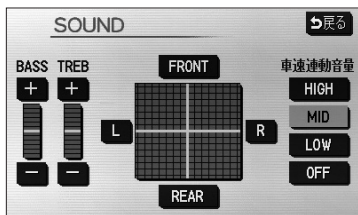
■ 音質を調整する

低音 (BASS) を強調する場合は **+**、弱めるときは **-** にタッチします。

高音 (TREB) を強調する場合は **+**、弱めるときは **-** にタッチします。

2 自動で音量を調整するには

自転車の走行速度に応じて音量を自動的に大きくしたり、小さくしたりすることができます。



(1) **LOW**・**MID**・**HIGH** のいずれかにタッチして、自動的に調整されるレベルを設定します。

- **LOW** にタッチすると、自転車の速度が上がると少しだけ音量を上げます。
- **MID** にタッチすると、自転車の速度が上がると **LOW** のときよりも音量を上げます。
- **HIGH** にタッチすると、自転車の速度が上がると **MID** のときよりも音量を上げます。

- **OFF** にタッチすると、車速連動音量をしない設定にします。

！ アドバイス

速度が速いときに車外からの騒音が大きくなり、車内のオーディオの音量が聞き取りにくいという場合に使用すると便利です。

テレビ・オーディオの切り替え

1 テレビ・オーディオの切り替え方

AUDIO を押してオーディオ操作画面を表示し、画面左にあるオーディオモードスイッチで切り替える。

以下の操作でオーディオモードを切り替えることができます。



オーディオモードスイッチ

※1 CD (MP3/WMA含む)。

※2 接続時のみ切替可能。

※3 ビデオ機器を接続時のみ表示。

接続時は、**▼**(**▲**)マークが表示されます。画面に表示されていないオーディオモードを選ぶときは、**▼**(**▲**)にタッチしてください。

(1) オーディオモードを選んでタッチします。

- **AM** AMラジオに切り替わります。
- **FM** FMラジオに切り替わります。
- **TV** ワンセグ (テレビ)に切り替わります。
- **CD** ディスク*1に切り替わります。
MP3 WMA
・ディスクが入っていないときは、**DISC** と表示されます。
- **AUX** AUXに切り替わります。*2
- **・** 交通情報に切り替わります。
- **VTR** VTRに切り替わります。*3

2 オーディオ操作画面について

各オーディオモードの操作画面は、次のように表示されます。

●各オーディオモードの操作画面

AM (P.7-20参照)



FM (P.7-20参照)



CD (P.7-24参照)



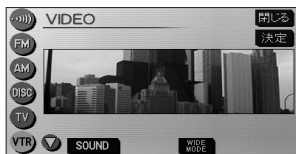
MP3/WMA (P.7-27参照)



ワンセグ (テレビ)(P.7-8参照)



VTR^{*1*}2 (P.7-19参照)



AUX^{*1} (P.7-39参照)



交通情報 (P.7-23参照)



※1 接続する各機器は、別途お買い求めください。

※2 接続コードは販売店オプション。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

お知らせ

- 操作画面を表示させてからおおよそ6秒以上何も操作しなかったときは、操作画面は自動的に解除され、もとの画面に戻ります。継続表示させるには、画面の設定 (P.1-27参照) で設定を変更してください。
- **閉じる** にタッチするか、再度 **AUDIO** を押すと、操作画面を解除します。

テレビ・オーディオの切り替え

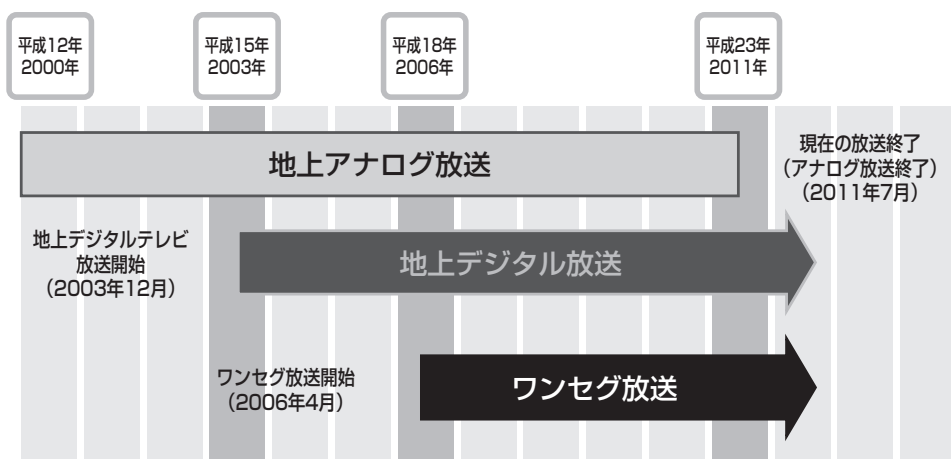
テレビ・オーディオ

ワンセグ(テレビ)をお使いになる前に

地上デジタル放送について

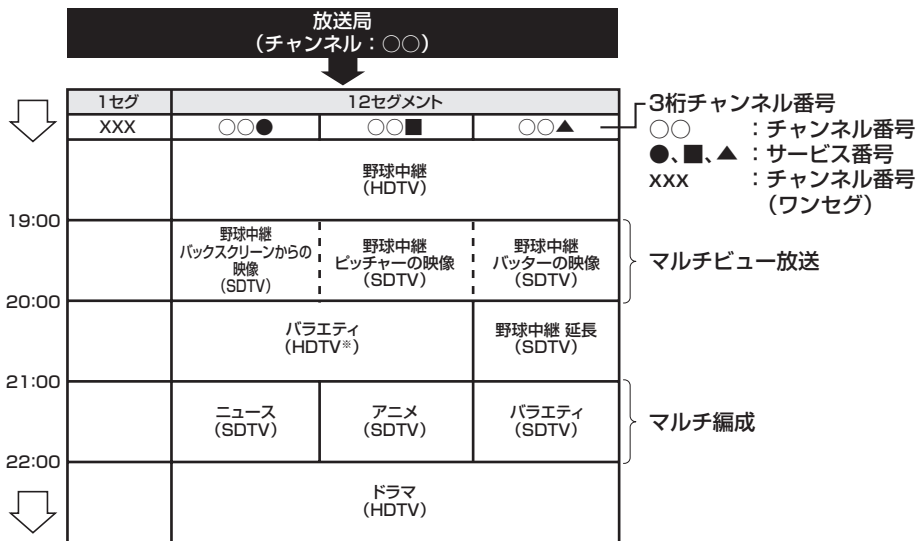
地上デジタルテレビ放送は関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。

地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。



ワンセグ(テレビ)をお使いになる前に

地上デジタル放送は、1つのチャンネルが13の「セグメント」という単位で分割されています。一般的に、地上デジタルテレビ放送は12セグメントを使用したハイビジョン映像（HDTV）や標準映像（SDTV）の放送を指します。標準映像は1つのチャンネルで複数の番組を同時に提供することができます（マルチ編成）。残りの1セグメントはワンセグ放送と呼ばれる携帯・移動体向けの放送に使用されます。



※標準映像の番組も同時に放送しているため、12セグメントを使用したハイビジョン映像より低画質となります。

！ アドバイス

- ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。
- 本機では、この地上デジタル放送の携帯電話・移動体端末向けの1セグメント部分受信サービス「ワンセグ」を視聴することができます。
- 本機では、12セグメントを使用した地上デジタルテレビ放送をご覧になることはできません。



！ 注意

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- ・AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

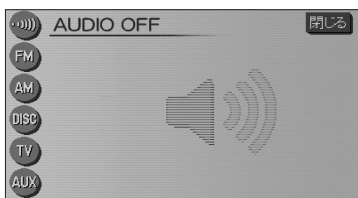
<http://www.mpegla.com>

ワンセグ(テレビ)を見るには

1 チャンネルリストの設定

ワンセグを受信するには、まず現在の場所で受信できるワンセグの放送局を探します(チャンネルリストスキャン)。ご購入後、初めてワンセグに切り替えたときには、まずチャンネルリストスキャンを行ってください。チャンネルリストスキャンを行わないと、ワンセグは受信できません。

チャンネルリストスキャンによって探し出された放送局は、プリセットスイッチ(P.7-8参照)にチャンネルが記憶され、ワンセグが受信できるようになります。



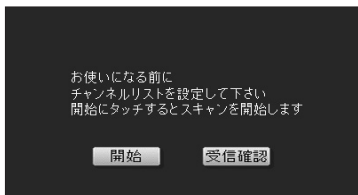
(1) **AUDIO** を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **TV** にタッチします。

- ご購入後、はじめてワンセグに切り替えた場合はチャンネルリストスキャンを促すメッセージが表示されます。

(3) **開始** にタッチします。



! アドバイス

受信確認 は本機を販売店で車に取り付ける際、ワンセグ放送のアンテナ入力レベルを確認するために使用します。

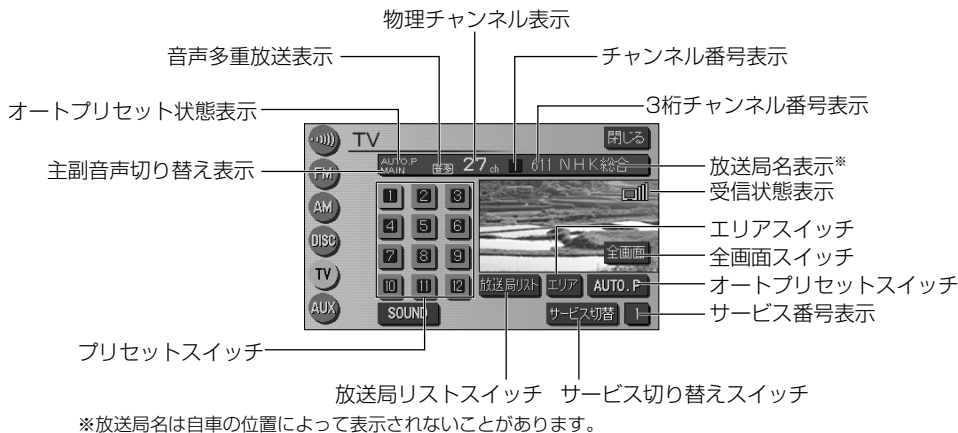
- 現在の場所で受信できるワンセグ放送局のスキャンが開始されます。
- **中止** にタッチすると、チャンネルリストスキャンを中止します。
- スキャンが正常に終了すると、ワンセグの映像が表示され、ワンセグが受信できるようになります。

! アドバイス

- 引越などでご自宅周辺で受信できる放送局が変わったときは、P.7-17を参照して、再度チャンネルリストスキャンを行ってください。
- スキャンにより受信できる放送局が1つも見つからなかった場合は、周囲の状況(P.8-12参照)が受信しにくい場所でないことをご確認の上再度チャンネルリストスキャンを行ってください。それでも見つからない場合は、販売店にお問合せください。



●ワンセグ操作画面



物理チャンネルとチャンネル番号について

地上デジタル放送では、従来のアナログ放送とは異なり、実際に送信されているチャンネル（物理チャンネル）と、放送局に割り当てられたチャンネル（チャンネル番号）とが異なります。

地上デジタル放送はUHF波で放送しており、実際のチャンネルは13ch～62chまでのチャンネルで（例えば、関東広域圏ではNHK総合は27chになります）、このチャンネルのことを「物理チャンネル」といいます。しかし、テレビなどのリモコンで、この番号（物理チャンネル）を使うのは不便なので、リモコンキーに対応する番号を地域ごとにあらかじめ割り当てています。

これを「チャンネル番号」といい、本機では **1** ～ **12** までのプリセットスイッチに割り当てています。

サービス番号について

地上デジタル放送は、1つのチャンネルで複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。1つのチャンネルに複数の番組が放送されている場合に、それぞれの番組を区別するための番号が「サービス番号」です。

3桁チャンネル番号について

「3桁チャンネル番号」とは、各放送局に割り当てられた2桁のチャンネル番号と、1桁のサービス番号を組み合わせたチャンネルのことをいいます。

！ アドバイス

- ワンセグの3桁チャンネル番号は通常の地上デジタルテレビ放送と異なり、611～728に割り当てられています。
- 受信状態表示について
本機は電波の状態をインジケータによって確認することができます。



2 ワンセグを見るには



- (1) **AUDIO** を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

- (2) **TV** にタッチします。

- ワンセグ映像が表示されます。

- AUDIO** を押すか、ワンセグ映像にタッチするとワンセグ操作画面が表示されます。

- ワンセグ操作画面で **全画面** または映像部分にタッチすると、ワンセグ操作画面が消去され、ワンセグ映像が表示されます。



！ アドバイス

- 初めてお使いになる場合は、チャンネルリストの設定を行います。P.7-7をご覧ください。
- ワンセグモード中に音量を調整すると、ワンセグモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
- 安全のため、車を完全に停車した場合のみワンセグ映像をお楽しみいただけます。
- 走行中は安全のため、ワンセグ映像が消え、音声だけになります。
- 電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音が出なくなることがあります。
- 一部のワンセグ画面（映像や設定画面など）には、時計が重ねて表示されます。
時計は表示／非表示を設定することができます。P.1-29を参照してください。
- 本機は双方向通信には対応していません。

3 見たいチャンネルを選ぶには

次の4つの方法の操作によって、見たいチャンネルに切り替えることができます。

●手動で選ぶには



(1) **TUNE TRACK** の上下を押します。

- プリセットスイッチに登録されたチャンネルが順送り(上) / 逆送り(下) で切り替わります。

●自動で選ぶには



(1) **TUNE TRACK** をピッと音がするまで押し続けると、画面に表示されている物理チャンネルに一番近い放送局を探して受信します。途中で中止する場合はもう一度押します。

! アドバイス

受信電波が弱いと、放送局を探しても受信することができない場合があります。

●プリセットスイッチから選ぶには



(1) ワンセグ操作画面 (P.7-8参照) で、プリセットスイッチにタッチします。

- 選択したプリセットスイッチに登録されたチャンネルを受信します。

●放送局リスト画面から選ぶには



(1) ワンセグ操作画面 (P.7-8参照) で **放送局リスト** にタッチします。

- 放送局リスト画面が表示されます。

(2) 受信したいチャンネル (リスト) にタッチします。

- 選択したリストに登録されたチャンネルを受信します。
- **全画面** にタッチすると、ワンセグ映像が表示されます。

ワンセグ(テレビ)を見るには

7テレビ・オーディオ

4 複数サービスを切り替えるには

1つのチャンネルから複数の番組（サービス）を同時に受信している場合に、番組を切り替えることができます。



(1) ワンセグ操作画面（P.7-8参照）で **サービス切替** にタッチします。

- タッチすることにより番組（サービス）が切り替わります。

！ アドバイス

- 地上デジタル放送では1つのチャンネルが複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。
- 1つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。
- 放送局内に番組が1つしかない場合は **サービス切替** が反転して操作できません。

5 選局したチャンネルを記憶させるには

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるには、マニュアルプリセット（手動）とオートプリセット（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。



(1) ワンセグ操作画面（P.7-8参照）を表示します。
 (2) マニュアルプリセットを行うには、まず"AUTO.P"、または"AREA.P"が画面（P.7-8の「ワンセグ操作画面」の「オートプリセット状態表示」）に表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは、 **AUTO.P**、または **エリア** にタッチすると、AUTO.P または AREA.Pからマニュアルプリセットに切り替わります。

(3) チャンネルを選局します（P.7-10参照）。
 (4) プリセットスイッチをピッと音が鳴るまでタッチし続けます。

- プリセットスイッチを押すと、チャンネルがワンタッチで選局できるようになります。





(5) オートプリセットを行う場合は、(1)の画面で **AUTO.P** をピッと音が鳴るまでタッチし続けます。

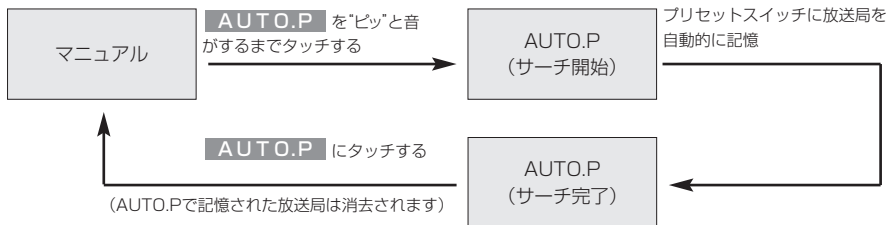
- 動作が終了するとプリセットスイッチにチャンネルが記憶されます。記憶した中で一番小さいチャンネルを受信します（オートプリセット）。
- プリセットスイッチを押すと、チャンネルがワンタッチで選択できるようになります。

！ アドバイス

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- オートプリセットを行った時は画面に「AUTO.P」が表示されます。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信感度の良いチャンネルを12局まで自動的に記憶します。
- 受信できたチャンネルが12局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。

ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。（このときAUTO.Pで記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンセグ(テレビ)を見るには

テレビ・オーディオ

6 エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルを表示・選局することができます。



(1) ワンセグ操作画面 (P.7-8参照) で **エリア** にタッチします。



- その地域で放送されている放送局のチャンネルがプリセットスイッチに記憶されます。(エリアプリセットモード)
- プリセットスイッチにタッチすると、選択したチャンネルに切り替わります。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、エリアプリセットモードを解除します。

! アドバイス

- 旅先などで放送局の物理チャンネルがわからないときなどに便利です。
- エリアスイッチで放送局表示させた場合は、「AREA.P」が表示されます。

番組表を見るには

番組表とは、放送局が提供する画面上で見ることができるテレビ番組表です。
画面上で簡単に、見たい番組を探すことができます。

● 番組表画面



1 番組表を表示するには

- (1) ワンセグ操作画面 (P.7-8参照) で **放送局リスト** にタッチします。

- 放送局リスト画面が表示されます。



- (2) **番組** にタッチします。

- 番組表が表示されます。



番組表を見るには

フ
レ
レ
ビ
・
オ
ー
デ
ィ
オ

2 見たい番組を探すには



(1) 番組表で▲・▼または▲▲・▼▼にタッチすると、リストを切り替えることができます。

- 番組表の放送時間を進めるには▼（1項目ずつ）、または▼▼（1ページずつ）にタッチします。
- 番組表の放送時間を戻すには▲（1項目ずつ）、または▲▲（1ページずつ）にタッチします。

(2) 番組表でチャンネル切り替えスイッチ（◀・▶）にタッチすると、見たいチャンネルを切り替えることができます。

- ◀・▶にタッチすると、プリセットスイッチ（P.7-8参照）に登録された順にチャンネルが順送り（▶）/逆送り（◀）で切り替わります。

！ アドバイス

- 番組表で表示されるのは最大で10番組です。
- 現在の時刻より前の時間や日付の番組表は見れません。
- 番組表を表示している放送局が複数の番組を放送している場合は、**サービス切替**にタッチすると同一放送局から放送されている異なる番組に切り替えることができます。

3 番組内容を見るには



(1) 番組表で番組タイトル（リスト）にタッチします。

- タッチした番組の詳細な内容を見ることができます。
- 番組の内容が表示しきれない場合は▲ または▼にタッチするとリストを動かせます。

ワンセグ（テレビ）の設定を行うには

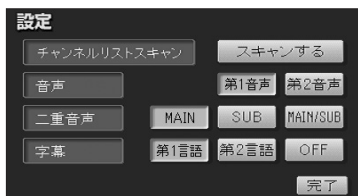
設定画面から、音声（複数音声、二重音声）や字幕の切り替え、チャンネルリストスキャンを行うことができます。

1 複数の音声を切り替えるには

複数音声放送の番組を受信したときの音声を切り替えることができます。



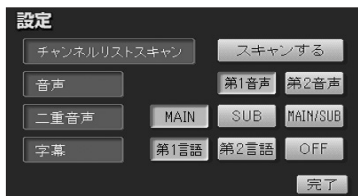
- (1) ワンセグ操作画面（P.7-8参照）で **放送局リスト** にタッチします。
- (2) **設定** にタッチします。
 - 設定画面が表示されます。



- (3) 音声の **第1音声** または **第2音声** から設定したい項目にタッチします。
 - 複数音声放送でない場合は、設定のみ切り替わります。
- (4) **完了** にタッチします。

2 二重音声を切り替えるには

二重音声放送の番組を受信したときの音声を、MAIN（主音声）・SUB（副音声）・MAIN/SUB（主音声+副音声）に切り替えることができます。



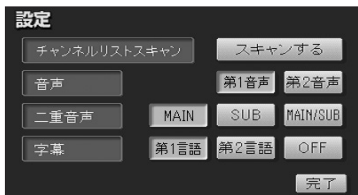
- (1) 設定画面（**1**の(3)の画面）を表示します。
- (2) 二重音声の **MAIN** ・ **SUB** ・ **MAIN/SUB** から設定したい項目にタッチします。
 - 二重音声放送でない場合は、設定のみ切り替わります。
- (3) **完了** にタッチします。

！ アドバイス

- 切り替えによって出力される音声は番組によって異なります（複数音声放送の第1音声には、主に日本語の音声を提供されています）。
- 二重音声放送の番組を受信しているときは、ワンセグ操作画面（P.7-8参照）に **音多** のマークが表示されます。
- 放送局リスト画面（P.7-10参照）の **MAIN/SUB** にタッチすることでも二重音声の設定を切り替えることができます。

3 字幕を切り替えるには

字幕データのある番組を受信したときの、字幕言語の種類と表示のON/OFFを切り替えることができます。



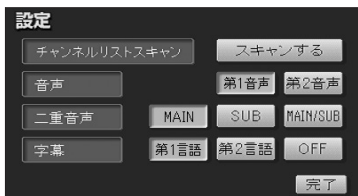
- (1) 設定画面 (P.7-16の **1** の(3)の画面) を表示します。
- (2) 字幕の **第1言語** ・ **第2言語** ・ **OFF** から設定したい項目にタッチします。
 - **OFF** に設定すると、字幕データのある番組でも字幕は表示されません。
 - 字幕データがない番組の場合は、設定のみ切り替わります。
- (3) **完了** にタッチします。

! アドバイス

切り替えによって出力される字幕は番組によって異なります。
(第1言語には、主に日本語の字幕が提供されています)

4 チャンネルリストスキャンを行うには

ご自宅周辺で新しいワンセグの放送が始まったときや引越しなどにより、ご自宅周辺で受信できるワンセグの放送局が変わったときに受信できる放送局を自動的に探して、プリセットスイッチ (P.7-8参照) に登録することができます。



- (1) 設定画面 (P.7-16の **1** の(3)の画面) を表示します。
- (2) **スキヤンする** にタッチします。
 - 現在の場所で受信できるワンセグの放送局のスキヤンが開始されます。
 - **中止** にタッチすると、チャンネルリストスキャンを中止します。

! アドバイス

中止 にタッチすると、プリセットスイッチに登録されている放送局は、チャンネルリストスキャン動作前の状態に戻ります。



- スキャンが終了するとワンセグ映像が表示されます。
- 受信可能な放送局がプリセットスイッチ（P.7-8参照）に登録されます。

！ アドバイス

スキャンにより受信できる放送局が1つも見つからなかった場合は、周囲の状況（P.8-12参照）が受信しにくい場所でないことをご確認の上再度チャンネルリストスキャンを行ってください。それでも見つからない場合は、販売店にお問合せください。

緊急警報放送（EWS）を見るには

緊急警報放送（EWS）について

緊急警報放送（EWS:Emergency Warning System）とは、大規模災害など緊急なできごとが発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

1 緊急警報放送（EWS）受信時の本機の動作



- (1) 視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送の番組（サービス）に切り替わります。

！ アドバイス

緊急警報放送が終了しても、切り替わった番組はそのままです。元の番組には戻りません。再度、お好みの番組を選択してください。

緊急警報放送（EWS）を見るには

テレビ・オーディオ

ビデオカメラ等のモニターとして使うには

市販のビデオ機器との接続でビデオモニターとして使用することができます。
(別売のVTRコードを販売店にてお求めください。)

VTR は販売店装着オプションのVTRコードと再生機器が取り付けられた場合に表示されます。



(1) **AUDIO** を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **VTR** にタッチします。

- VTR(ビデオ部入力)に切り替わり、ビデオなどの映像が表示されます。



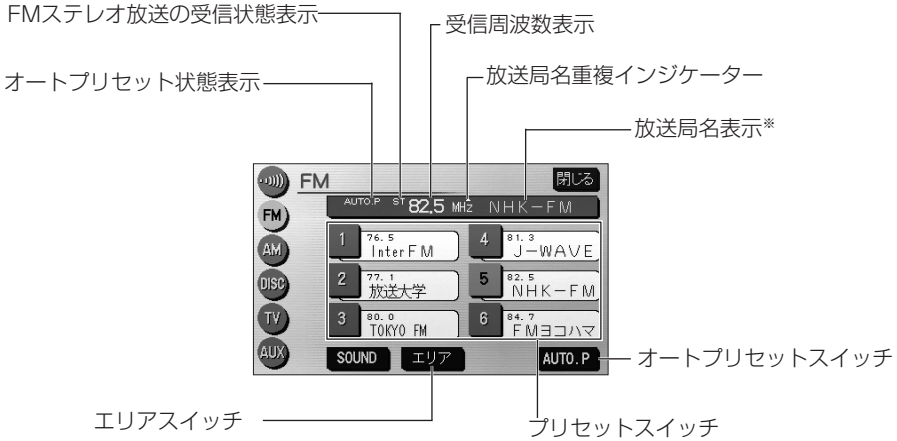
- **AUDIO** を押すまたは映像にタッチすると、ビデオ操作画面が表示されます。

お知らせ

- ビデオ機器によっては、ビデオ中継コードが使用できないものがありますので、それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。
- VTRからの入力信号が大きい場合には、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
- 接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。
- ビデオ映像には、時計が重ねて表示されます。
時計は表示／非表示を設定することができます。P.1-29を参照してください。

ラジオを聞くには

AM放送またはFM放送を受信し、聞くことができます。



※放送局名は自車の位置によって表示されないことがあります。

1 ラジオを聞くには



- (1) **AUDIO** を押します。
 - オーディオ操作画面が表示されます。
- (2) **FM / AM** にタッチします。
 - FM操作画面/AM操作画面（ラジオ操作画面）が表示されます。



お知らせ

FMステレオ放送を受信しているときは画面にSTが表示されます。

ラジオを聞くには

テレビ・オーディオ

2 選局するには



(1) **TUNE TRACK** の左右を押すか、ラジオ操作画面でプリセットスイッチにタッチして選局します。

- **TUNE TRACK** の左右をピッと音がするまで押し続けると、現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を探して受信します。途中で中止するときはもう一度押します。

お知らせ

- 受信電波が弱いと、放送局を探しても受信することができない場合があります。
- ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

3 選局した放送局を記憶させるには



(1) 放送局を選局後、ラジオ操作画面でプリセットスイッチをピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
(マニュアルプリセット)

- プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。



(2) 自動的に記憶させる場合は、ピッと音が鳴るまで **AUTO.P** にタッチし続けます。

- 動作が終了するとプリセットスイッチに周波数が記憶されます。
(オートプリセット)
- プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。

アドバイス

AM操作画面から交通情報の周波数を設定することができます。詳細は「交通情報を聞くには」(P.7-23)を参照してください。

お知らせ

- 電波の強い放送局が6局、記憶されます。
- オートプリセット動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチするとプリセットメモリーは、オートプリセット動作前の状態に戻ります。
- オートプリセットを行った時は画面に「AUTO.P」が表示されます。
- 電波が弱く1局もプリセットされなかった場合、プリセット局はオートプリセット動作前の状態に戻ります。

4 エリアスイッチについて



(1) ラジオ操作画面で **エリア** にタッチします。

- その地域で放送されている放送局名と受信周波数が画面に表示されます。

(2) プリセットスイッチにタッチして選択します。

！ アドバイス

- 旅先などで放送局の受信チャンネルがわからないときなどに便利です。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、▲が表示されることがあります。▲が表示されたときは **局名** にタッチすると重複したもう1つの放送局名に切り替えることができます。
- エリアスイッチで放送局表示させた場合は、「AREA.P」が表示されます。


交通情報を聞くには

交通情報を受信し、聞くことができます。



(1)  を押します。

- オーディオ画面が表示されます。

(2)  にタッチします。

- 交通情報放送を行っている地域で交通情報を受信できます。



(3) 交通情報の周波数をセットするにはAM操作画面 (P.7-20参照) で記憶させたい周波数を選局します。

- 選局する方法については、P.7-21を参照してください。

(4)  をピッと音がするまでタッチし続けます。

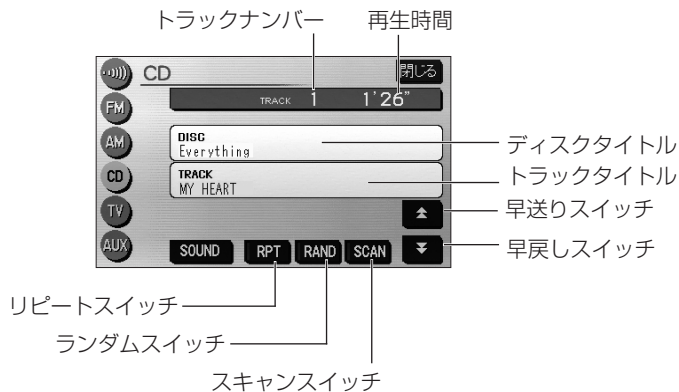


お知らせ

初期設定では1620 kHzにセットしてあります。

CDプレーヤーでCDを聞くには

CDを再生し、聞くことができます。CDの出し入れについてはP.1-14を参照してください。



1 CDを聞くには



- (1) ディスク差し込み口にCDを差し込みます。自動的に電源が入り、再生を開始します。また、CDが差し込まれているときに **AUDIO** を押し、オーディオ操作画面（P.7-3参照）から **CD** にタッチすると、再生を始めます。



お知らせ

本機では、CDエキストラの映像再生はできません。



- 文字（記号）が記録されているCDを挿入した場合は、CD操作画面に表示されます。

お知らせ

- 録音機種によってはディスクが再生されないことがあります。
- CD操作画面に表示される文字数は以下のとおりです。
ディスクタイトル・・・半角で最大32文字、全角文字で最大16文字まで、先頭から表示します。
トラックタイトル・・・半角で最大32文字、全角文字で最大16文字まで、先頭から表示します。
- 録音（入力）機種によっては文字（記号）タイトルが表示されないことがあります。

2 曲を選ぶには



- (1) **TUNE TRACK** を押します。

- 右側を押すと、次の曲を選曲できます。
- 左側を押すと、前の曲を選曲できます。

お知らせ

左側を一回押すと、再生中の曲が始めから開始されます。

3 早送り・早戻しをするには



- (1) **TUNE TRACK** を押し続けます。

- 右側を押し続けると早送りできます。
- 左側を押し続けると早戻しできます。
- CD操作画面の **▲** または **▼** にタッチしても早送り・早戻しできます。
- **▲** を押し続けると早送りできます。
- **▼** を押し続けると早戻しできます。
- 手をはなすと再生が開始されます。

4 再生中のディスクの中から希望する曲を探すには



(1) **SCAN** にタッチします。

- **SCAN** の作動表示灯が点灯します。
- 再生中の曲の次の曲から、曲の始めの部分（約10秒間）ずつ、次々に再生します。

(2) 希望する曲が再生されたところでもう一度タッチすると、その曲の再生を続けます。

5 同じ曲をリピート再生するには



(1) **RPT** にタッチします。

- **RPT** の作動表示灯が点灯します。
- もう一度タッチすると解除されます。

6 曲の順番をランダムに聞くには



(1) **RAND** にタッチします。

- **RAND** の作動表示灯が点灯します。
- もう一度タッチすると解除されます。



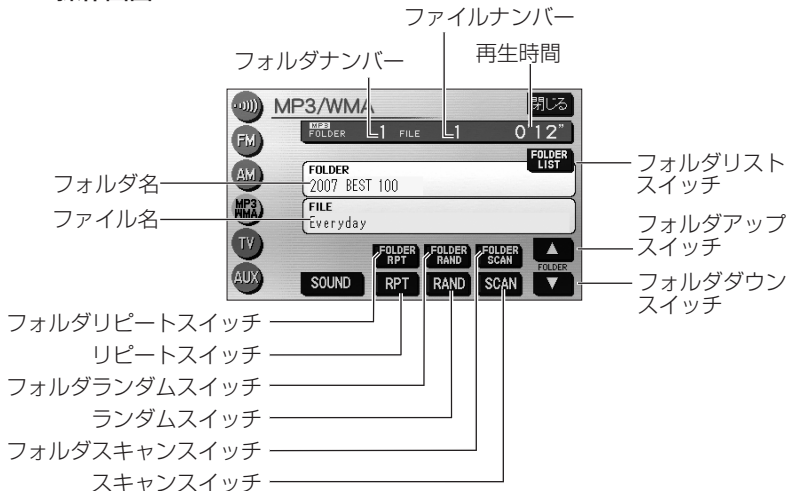
お知らせ

ランダム選曲は、曲が終わるごとに次に再生する曲をランダム（無作為）に決めています。このため同じ曲が何度も再生されることがあります。

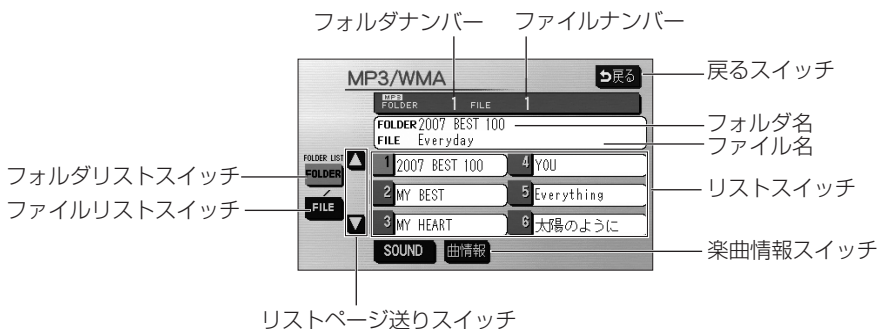
MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには

CD-ROM、CD-R/RWに記録されたMP3/WMAファイルを聞くことができます。

●MP3/WMA操作画面



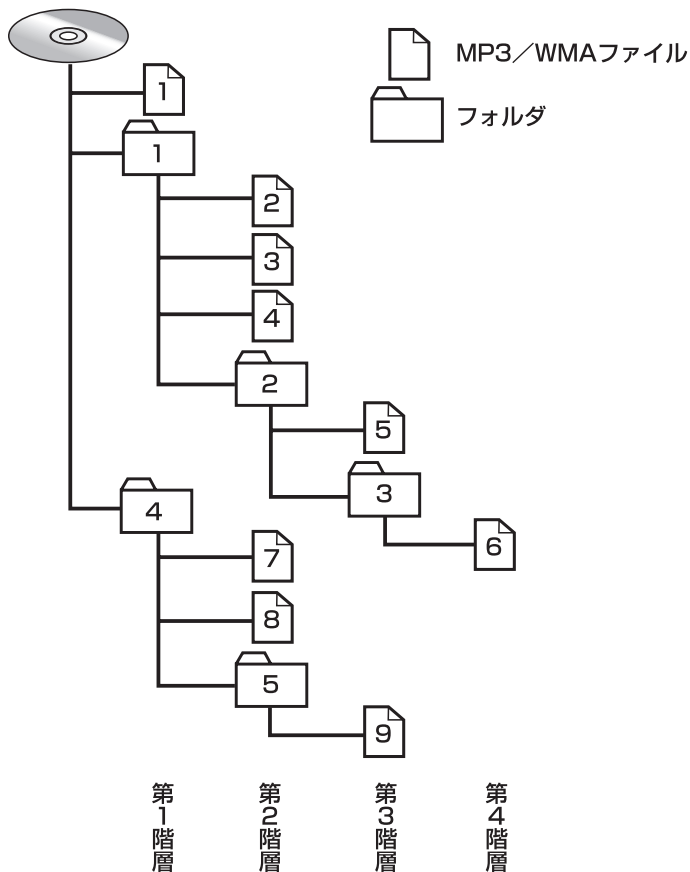
●フォルダ／ファイルリスト画面



MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには

テレビ・オーディオ

●MP3/WMA対応ディスクの構造例



MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには

テレビ・オーディオ



お知らせ

- フォルダに格納されずディスクに直接格納されているファイル①は、本機のMP3/WMAプレーヤーで再生する場合に“ROOT FOLDER”という架空のフォルダに格納されます。
- MP3/WMAファイルが直接格納されていないフォルダは、本機では表示されません。
- 同じディスク（同一セッション）に音楽CD（CDDA）データとMP3/WMAデータが混在する場合、MP3/WMAデータは再生ができません。
- 同じディスクにオーディオファイル（WAVEデータ）とMP3/WMAデータが混在する場合には、MP3/WMAデータのみ再生することができます。
- マルチセッションにより複数のセッションが存在するディスクでは、すべてのセッションを再生できない場合があります。

1 MP3/WMAディスクを聞くには



(1) ディスク差し込み口にCDを差し込みます。

自動的に電源が入り、再生を開始します。

また、MP3/WMAが収録されたCD-R/RWが差し込まれているときに **AUDIO** を押し、オーディオ操作画面 (P.7-3参照) から **MP3 WMA** にタッチすると、再生を始めます。



お知らせ

- 通常は 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → 8 → 9 (P.7-28 「●MP3/WMA対応ディスクの構造例」を参照) の順に再生します。
- 再生中のファイルのモードを、“MP3” または “WMA” で表示します。
- 画面に表示させることができるフォルダ名、ファイル名の文字数は、最大16文字 (半角のみのときは32文字まで表示できる場合があります) までです。また、記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されない場合があります。

2 聞きたいフォルダを選ぶには

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

● 操作画面で選ぶには



(1) MP3/WMA操作画面 (P.7-27参照) で **▲** または **▼** にタッチします。

- 選んだフォルダに格納されている最初のファイルの再生を始めます。

●リスト画面で選ぶには



- (1) MP3/WMA 操作画面 (P.7-27 参照) で **FOLDER LIST** にタッチします。

● 走行中は操作できません。



- (2) リストに表示されたフォルダ名にタッチします。

● 選んだフォルダに格納されている最初のファイルの再生を始めます。
● フォルダが7つ以上のときは、▲ または ▼ にタッチするとリストのページを切り替えます。

3 聞きたいファイルを選ぶには

ディスクの中から聞きたいファイルを選ぶことができます。

●TUNE・TRACKボタンで選ぶには



- (1) **TUNE TRACK** を押します。

● 右側を押すと、次のファイルを再生できます。
● 左側を押すと、前のファイルを再生できます。

お知らせ

左側を1回押すと、再生中のファイルが始めから開始されます。

●リスト画面で選ぶには



(1) P.7-30の2の「●リスト画面で選ぶには」の(2)の画面で **FILE** にタッチします。

● 走行中は操作できません。



● ファイルリスト画面 (P.7-27参照) が表示されます。

(2) リストに表示されたファイル名にタッチします。

● 選んだファイルの再生を始めます。

● ファイルが7つ以上のときは、▲または▼にタッチするとリストのページを切り替えます。

● **FOLDER** にタッチするとフォルダリスト画面 (P.7-27参照) が表示されます。

4 早送り・早戻しをするには



(1) **TUNE TRACK** をピッと音が鳴るまで押し続けます。

● 右側を押し続けると早送りできます。

● 左側を押し続けると早戻しできます。

● 手をはなすと再生が開始されます。

5 同じファイルをリピート再生するには



(1) MP3/WMA操作画面 (P.7-27参照) で **RPT** にタッチします。

● **RPT** の作動表示灯が点灯します。

● 再生中のファイルを繰り返し再生します。

● もう一度タッチすると解除されます。

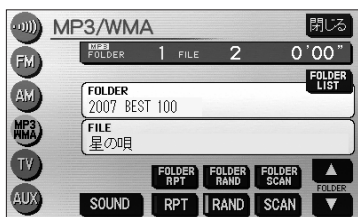
6 同じフォルダをリピート再生するには



(1) MP3/WMA 操作画面 (P.7-27 参照) で **FOLDER RPT** にタッチします (フォルダリピート)。

- **FOLDER RPT** の作動表示灯が点灯します。
- 再生中のファイルと同じフォルダにあるファイルを繰り返し再生します。
- もう一度タッチすると解除されます。

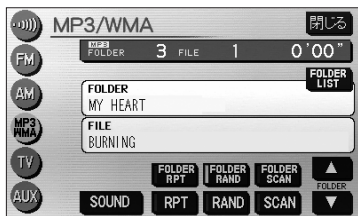
7 再生中のフォルダの中からランダムに再生するには



(1) MP3/WMA 操作画面 (P.7-27 参照) で **RAND** にタッチします。

- **RAND** の作動表示灯が点灯します。
- 再生中のフォルダの中からランダム (無作為) にファイルが選択され再生します。
- もう一度タッチすると解除されます。

8 全フォルダの中からランダムに再生するには



(1) MP3/WMA 操作画面 (P.7-27 参照) で **FOLDER RAND** にタッチします (フォルダランダム)。

- **FOLDER RAND** の作動表示灯が点灯します。
- ディスク内の全フォルダの中からランダム (無作為) にファイルが選択され再生します。
- もう一度タッチすると解除されます。

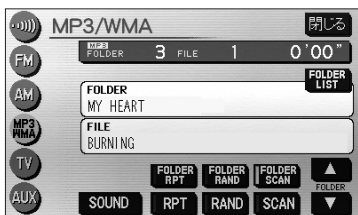
9 再生中のフォルダの中からファイルを探すには



(1) MP3/WMA操作画面 (P.7-27参照) で **SCAN** にタッチします。

- **SCAN** の作動表示灯が点灯します。
- 再生中のファイルの次のファイルから、フォルダ内の全ファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
- もう一度タッチすると、そのファイルの再生を続けます。
- 全ファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

10 全フォルダの中からフォルダを探すには



(1) MP3/WMA操作画面 (P.7-27参照) で **FOLDER SCAN** にタッチします (フォルダスキャン)。

- **FOLDER SCAN** の作動表示灯が点灯します。
- 再生中のフォルダの次のフォルダから、各フォルダ内の先頭にあるファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
- もう一度タッチすると、そのフォルダの再生を続けます。
- 全フォルダの先頭にあるファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

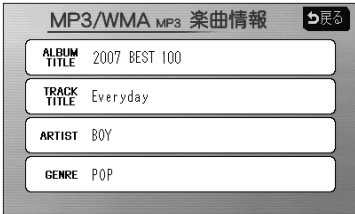
11 楽曲情報を表示するには



(1) フォルダリストまたはファイルリスト画面 (P.7-27 参照) で **曲情報** にタッチします。

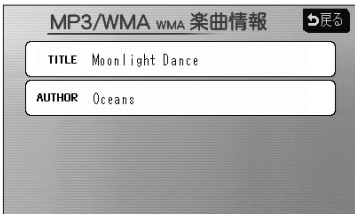
- 再生中のMP3ファイルまたはWMAファイルの楽曲情報画面が表示されます。
- 走行中は操作できません。

MP3楽曲情報画面



- MP3楽曲情報画面は、MP3ファイルに保存されているID3タグ情報 (P.7-36参照) を表示します。

WMA楽曲情報画面



- WMA楽曲情報画面は、WMAファイルに保存されているWMAタグ情報 (P.7-36参照) を表示します。



お知らせ

- 走行中は、安全のため楽曲情報を表示しません。
- 楽曲情報画面に表示される文字数は、最大16文字 (半角のみのときは32文字まで表示できる場合があります。) までです。また、記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されないことがあります。

●MP3/WMAについて

MP3 (MPEG Audio Layer3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™Audio)はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できるMP3/WMAファイルの規格や記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

●対応規格

MP3(MPEG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3 LSF)

●対応サンプリング周波数

MPEG-1 Audio Layer3 : 32、44.1、48 (kHz)

MPEG-2 Audio Layer3 LSF : 16、22.05、24 (kHz)

●対応ビットレート

MPEG-1 Audio Layer3 : 32、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)

MPEG-2 Audio Layer3 LSF : 8、16、32、64、80、96、112、128、
※VBRに対応しています。 144、160 (kbps)

●対応チャンネルモード

: ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

再生可能なWMAファイルの規格について

●対応規格

WMA Ver. 7、8、9

●対応サンプリング周波数

32、44.1、48(kHz)

●対応ビットレート

Ver. 7、8 : CBR 48、64、80、96、128、160、192 (kbps)

Ver. 9 : CBR 48、64、80、96、128、160、192 (kbps)

※VBRに対応しています。(Ver. 9の44.1、48(kHz)のみ)

※2ch再生のみ対応しています。

ID3タグ/WMAタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機では、ID3 Ver. 1.0、1.1、2.3、2.4のID3タグに対応しています。(文字数はID3 Ver. 1.0、1.1に準拠します。)

※Riff SIFには対応していません。

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、オーサー名（アーティスト名）を保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-R、CD-RWおよびCD-ROMです。

なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは通常の音楽CD(CDDA)に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズをつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。

一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

●ディスクフォーマット

CD-ROM Mode 1

CD-ROM XA Mode 2 Form 1

●ファイルフォーマット

ISO9660レベル1、2

Joliet

Romeo

※パケットライト方式には対応していません。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名/ファイル名文字数 : 全角16文字。半角のみのときは32文字。
- 最大フォルダ数 : 192 (ルート含む)
- ディスク内最大ファイル数 : 255

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“.mp3” / “.wma” がついたものだけです。

MP3/WMAファイルには、“.mp3” / “.wma” の拡張子をつけて保存してください。

マルチセッションについて

本機は、マルチセッションに対応していません。1枚のディスクに2つ以上のセッションが記録されている場合は、全てのセッションを再生できない場合があります。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが格納されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRで作成したファイルの早送り・早戻し動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番について

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは次のような順番で表示します。

1. MP3/WMAファイルを格納しているフォルダにフォルダナンバーが順番に付与されます。この順番は同一階層にあるフォルダよりも下位階層にあるフォルダが優先となります。
2. 次にフォルダ内のファイルがファイル名順（0～9、A～Z等）に並べられます。
3. 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAファイルが存在する場合はMP3を優先して表示します。



お知らせ

MP3/WMA以外のファイルに“.mp3” / “.wma” の拡張子をつけると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに“.mp3” / “.wma” の拡張子をつけないでください。

●MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合について

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、視聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示どおりにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合について

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

CD-R/CD-RWに書き込む場合について

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介して、ライティングソフトにてCD-R/RWに書き込みます。

- ・ISO9660レベル1、2またはJolietまたはRomeoというファイルフォーマットに設定してください。
- ・CD-RWを消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。
- ・CD-R/RWは、書き込みの設定でセッションとCDの終了処理を行ってください。

※使用方法などはライティングソフトで異なりますので確認してください。

- ・ライブファイルシステム形式で記録されたディスクは対応しておりません（Microsoft Windows Vistaをご使用の際は設定をご確認ください）。



お知らせ

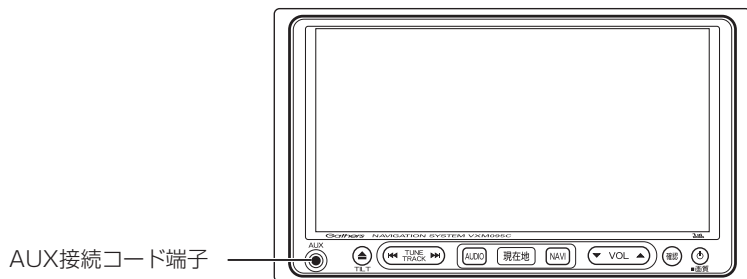
- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R/CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。また、本機ではディスクアットワンス、トラックアットワンスで記録されたディスクをご使用ください。
- MP3/WMAは市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

ポータブルオーディオ機器を接続して使う (AUX)

市販のポータブルオーディオを接続すると、本機でポータブルオーディオに収録された音楽を聞くことができます。

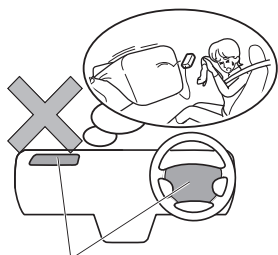
ポータブルオーディオを接続する場合は、別売の「AUX接続コード」をご使用ください。

※本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえご使用ください。

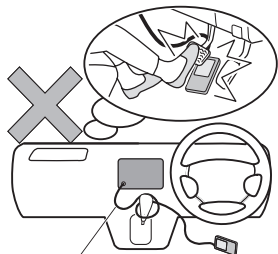


●ポータブルオーディオをお使いになる前に

警告



SRSエアバッグ展開部



AUX接続コード

- 接続したポータブルオーディオやAUX接続コードを、SRSエアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。
※ SRSエアバッグ展開場所については、お車の取扱説明書をご覧ください。

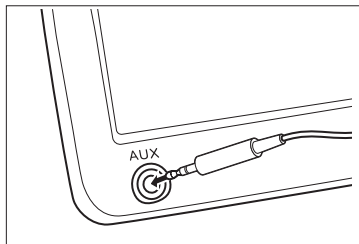
- ポータブルオーディオやAUX接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。
運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

ポータブルオーディオ機器を接続して使う (AUX)

テレビ・オーディオ

1 ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）

- ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。
- オーディオのモードがAUX以外になっている、または本機の電源がOFFになっていることを確認してください。



(1) AUX接続コードを接続します（取りはずします）。



お知らせ

- 抵抗付きコードは使用できません。
- モニター開閉時、コードを挟み込まないように注意してください。
- 今後発売される機器に関しては、動作の保証はいたしません。



お願い

- ディスプレイが開いている、または傾いた状態（P.1-20参照）では、AUX接続コードの抜き差しはしないでください。
- AUX接続コードに手を引っ掛けたりしないよう注意してください。
- 運転中はポータブルオーディオの接続・操作・取りはずしをしないでください。

2 ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱説明書をご覧ください。

(1) 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。



(2) オーディオ操作画面（P.7-3参照）から **AUX** にタッチします。

- AUX画面に切り替わります。
- ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。
- 再生中に **AUDIO** を押すとAUX操作画面が表示されます。



3 ポータブルオーディオを終わる



- (1)  を押すか、他のオーディオモードに切り替えます。
- もう一度  を押すか、**AUX** にタッチすると再生が再開されます。

お知らせ

- AUXモード中にAUX接続コードを抜き差しすると、雑音が発生しスピーカー破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
- AUXモード中にポータブルオーディオの電源を切り替えると、雑音が発生しスピーカー破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
- 接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意ください。
- 接続した機器の入力音量が大きい場合は、音が歪む場合があります。この場合は、接続した機器側で音量を調整してください。
- AUXモード中に音量を調整すると、AUXモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
- 本機の電源がONの状態の時にAUX接続コード端子からコードを抜く、または本機の電源がOFFの状態の時にAUX接続コード端子からコードを抜いてそのまま本機の電源をONした場合、音量は初期設定値に戻ります。
- 本機に接続したポータブルオーディオの音量を変更したときは、本機との接続を解除したあと、音量をもとに戻してください。
- ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリーなどを使用してください。お車に装着されているシガライターソケットやアクセサリソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出る場合があります。

ポータブルオーディオ機器を接続して使う (AUX)

7
テレビ・
オーディオ

メモ

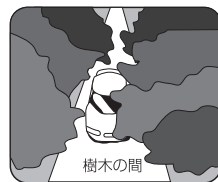
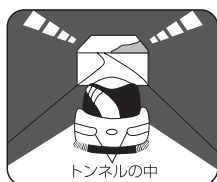
メモ

テレビ・
オーディオ

自転車位置精度について

GPSを受信できない場所

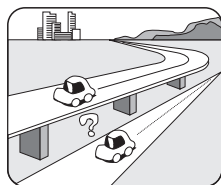
GPS衛星からの電波は直進性が強いいため、次のような場所では受信できないことがあります。



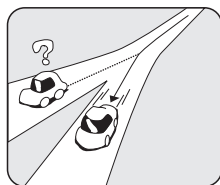
- ルーフキャリアなど使用時にはGPS衛星の電波がさえぎられて自転車位置を測位できなくなることがあります。このようなときは、アンテナとルーフキャリアをはなして設置してください。
- GPS衛星はアメリカの国防総省により管理されており、衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自転車マークがズれることがあります。

本システムは、以下のような走行環境やGPS衛星の状態により自転車マークが正しい位置を表示しないときがありますが、故障ではありません。また新設道路など地図データが実際の道路形状と異なっている道路を走行後、地図データ上の道路に戻ると自転車マークがズれることがあります。

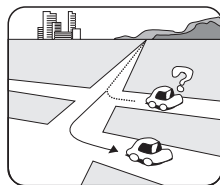
そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して現在位置を自動的に補正します。



高速道路を走行しているのに、その側道に自転車マークがのる場合があります。また、その逆の場合もあります。



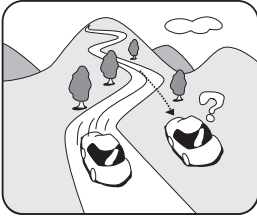
角度の小さなY字路を走行しているとき他方の道に自転車マークがのる場合があります。



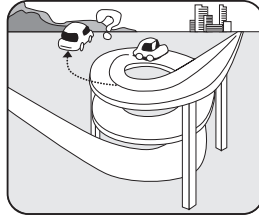
碁盤目状の道路を走行しているとき、隣の道路に自転車マークがのる場合があります。



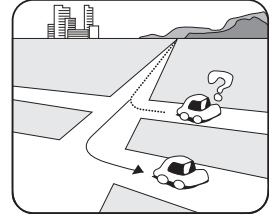
フェリー、車両運搬車などで移動したあと、GPSの受信ができない時、自転車マークが移動前の位置になっている場合があります。



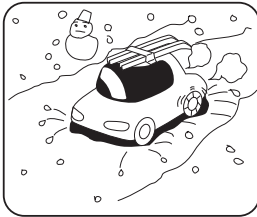
勾配の急な山岳などを走行しているとき、自車マークがズれる場合があります。



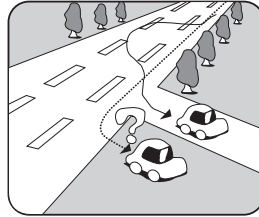
ら旋状の道路などを走行しているとき、自車マークがズれる場合があります。



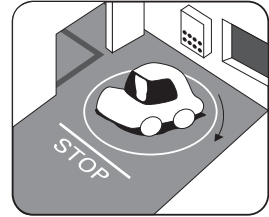
直線路を長い間走行したあとに、右左折した時、手前または先の道路に自車マークがのる場合があります。



雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行している時、自車マークがズれることがあります。
また、タイヤチェーンなどを装着して走行しているときも、自車マークがズれることがあります。



道幅の広い道路で蛇行運転すると、距離が合わなくなり、自車マークがズれることがあります。



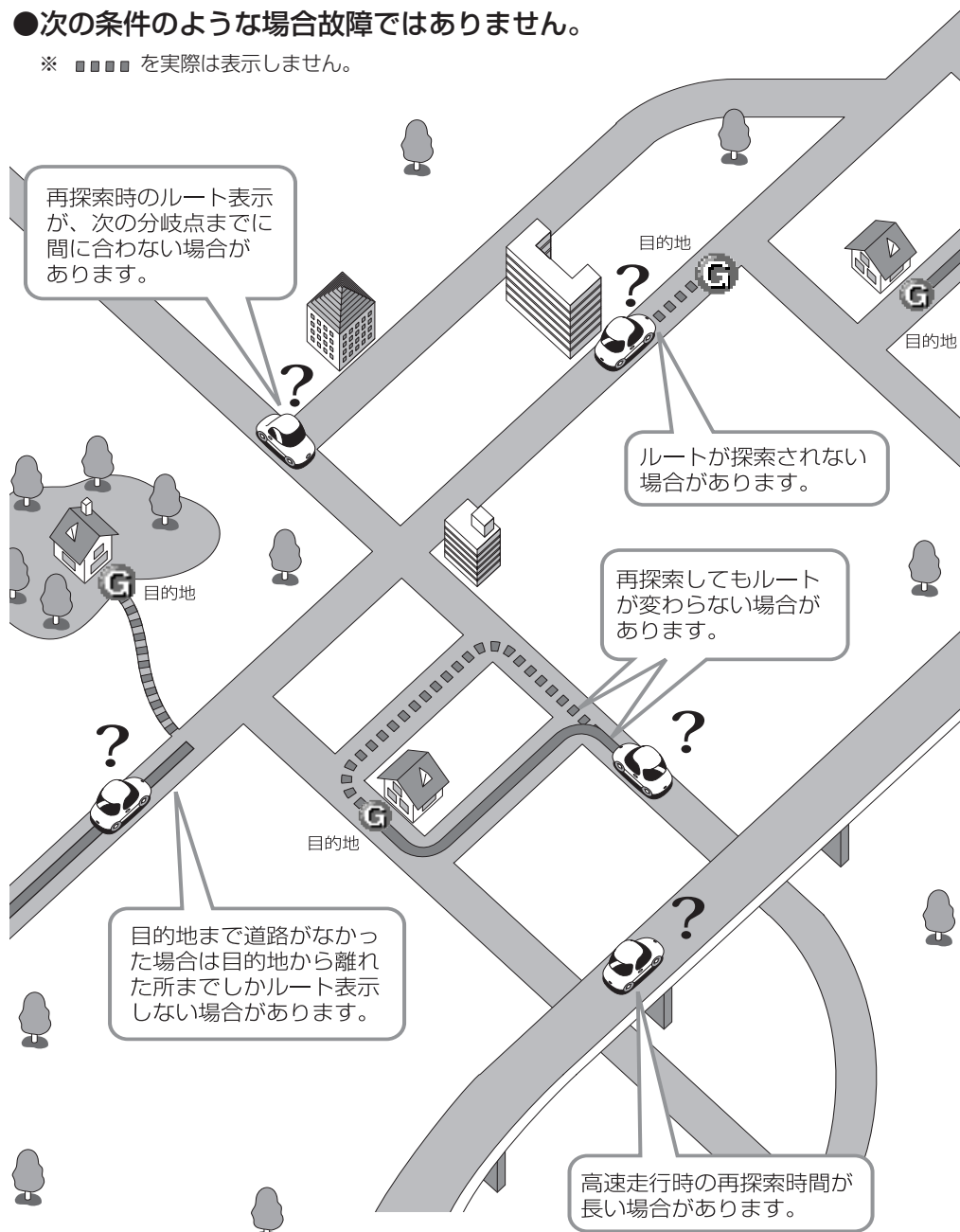
地下駐車場や立体駐車場で、ら旋状の道路を走行したあとや回転したあと一般道にでると、自車マークがズれる場合があります。
イグニッションキーのACC OFFの状態、ターンテーブルなどで旋回をおこなうと自車マークの向きが異なる場合があります。

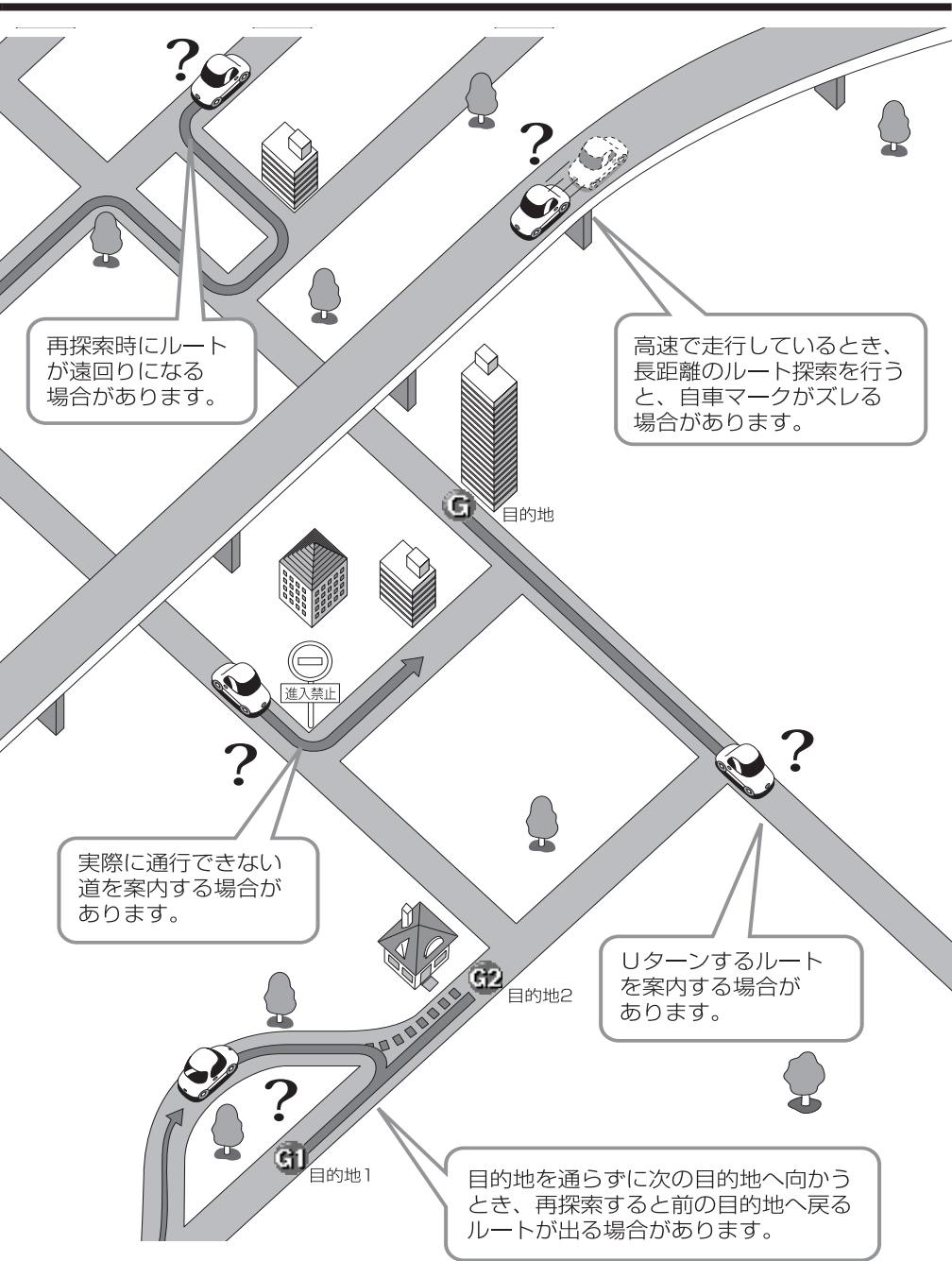
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤ使用時に自車マークがズれることがあります。
- 実際の向きと自車マークの向きが異なった場合はGPS衛星による位置修正が行なわれると自動的に方位修正されます。
- 車庫入れ時の後退や、切り返しにより自車マークがズれることがあります。
- 坂道では、自車マークがズれることがあります。

ルート探索について

● 次の条件のような場合故障ではありません。

※ ■■■■ を実際には表示しません。



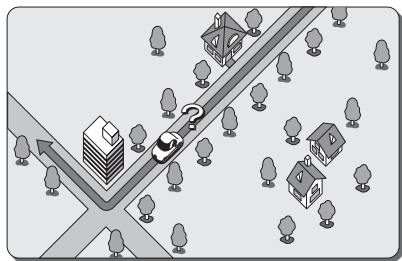


ルート探索のしくみ

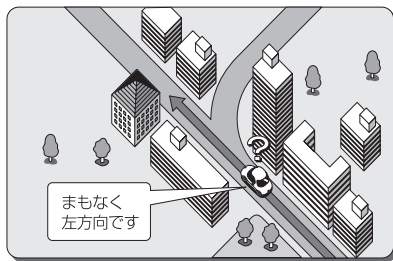
知っておいてください

ルート案内について

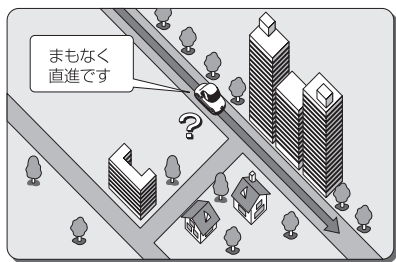
● 次のような場合故障ではありません。



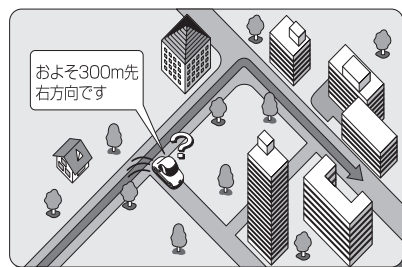
交差点で曲がる時に案内がされない場合があります。



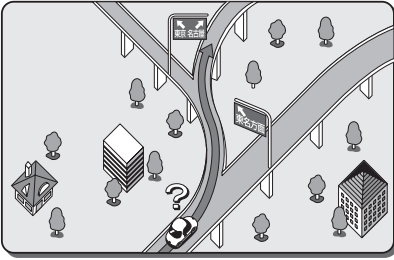
右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。



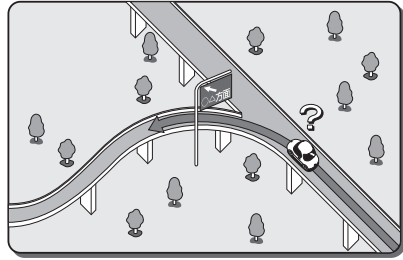
直線道路走行中に、直進案内がされる場合があります。



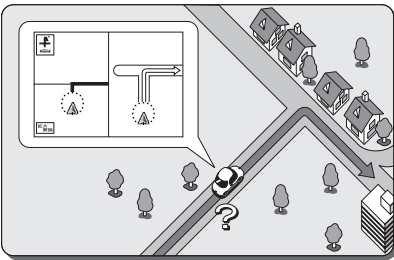
案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内がされる場合があります。



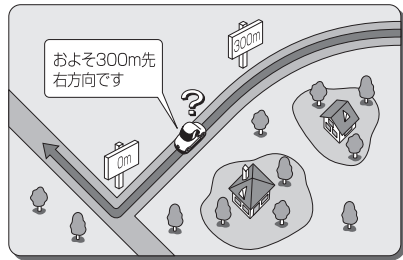
方面案内でいくつもの方面名を表示することがあります。



方面案内が表示されない高速道路・有料道路があります。



交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。



案内距離が多少ズれることがあります。

こんなメッセージが表示されたとき

ナビゲーション部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処理方法
地図データが読めません 販売店にご相談下さい	本機の故障	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
車速信号が検出できません 販売店にご相談下さい	ケーブルの脱落などにより車速信号が検出できない場合	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
プログラム読み込み中です 電源を切らないで下さい	バッテリーとの接続を断られた、または電圧が下がった後に起動を行った場合	プログラム読み込みが終了するまで、しばらくそのままお待ちください。
周辺に該当する施設がありません	選択されているエリア周辺に該当の施設が見つからない場合	エリアを変更するか、他の施設で検索してください。
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの周辺に該当の施設が見つからない場合	ルートを変更するか、他の施設で検索してください。
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号入力で入力したデータが地図データに収録されておらず、地図表示できない場合	入力した番号に間違いがないか、ご確認ください。番号を再入力・検索しても地図が表示できない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号入力で入力したデータが地図データに収録されておらず、地図表示できない場合	入力した番号に間違いがないか、ご確認ください。番号を再入力・検索しても地図が表示できない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコード入力で入力したデータが地図データに収録されておらず、地図表示できない場合	入力したマップコードに間違いがないか、ご確認ください。再入力・検索しても地図が表示されない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
履歴が登録されていません	過去に目的地を設定しておらず、履歴が登録されていない場合	目的地を設定すると目的地履歴に登録されます。履歴が登録されていない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
ルートが探索できませんでした	案内できるルートがない場合	他に目的地を設定するか、あるいは地図を参考に走行してください。
新しいルートが探索できませんでした 前回のルートでご案内します	案内中のルート以外に適切なルートが見つからなかった場合	表示しているルートで走行していただくか、地図を参考に走行してください。
これ以上設定できません 消去してからお使い下さい	すでに目的地が5カ所設定されているときに、さらに設定しようとした場合	不要な目的地を消去してから設定してください。
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が1カ所も登録されていないときに、メモリ地点から地図を表示しようとした場合	メモリ地点の登録を1カ所以上行ってからお使いください。

テレビ・オーディオ部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
ディスクが入っていません	ディスクの差し込み口に音楽CD、MP3/WMAディスクが入っていない場合	音楽CD、MP3/WMAディスクを入れてください。
ディスクをお確かめ下さい	音楽CD、MP3/WMAディスクが裏返しになっている場合	ディスクを正しく入れ直してください。
	ディスクが汚れているまたは傷がある場合	汚れているときはクリーニングしてください。傷があるときは傷のないものにしてください。
接続状態をお確かめ下さい	AUX接続コードがしっかり接続されていない場合	AUX接続コードをしっかりと接続してください。
異常検知により再生を停止します	対応していないフォーマットのMP3/WMAファイルまたはデータ破損等で再生が不可能なMP3/WMAファイルを使用している場合	再生可能なフォーマット(P.7-35参照)のMP3/WMAファイルを使用してください。
異常検知でDISC停止中です	何らかの原因でCDプレーヤーが動作しない場合	CDプレーヤーからディスクを取り出してください。
温度異常のためDISC停止中です	CDプレーヤーが高温になり再生が不可能な場合	温度が下がるまでしばらくそのままお待ちください。

VICS/FM多重部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処理方法
VICSの文字(図形)情報を受信できません しばらくお待ち下さい	文字情報、図形情報のメニューを受信中の場合	メニューの受信が完了するまでお待ちください。
最新のVICS割込情報は ありません	割り込み情報を再表示しようとしたときに受信した割り込み情報がない場合	割り込み情報受信後、30分以内にご利用ください。
VICSの文字(図形)情報を受信して いません VICS選局で周波数をご確認下さい	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していない場合	選局しなおしてVICSの情報を受信してください(P.4-47~4-48参照)。
受信中です しばらくお待ち下さい	FM多重放送のメニューを受信中の場合	メニューの受信が完了するまでお待ちください。
FM多重放送を受信できません	選局したが、FM多重放送番組を一つも受信できなかった場合	受信感度の良い所に車を移動してからご利用ください。
この情報は停車中にご覧になれます	連動情報番組表示中に車が走行した場合	車を安全な所に停車させてからご利用ください。


こんなメッセージが表示されたとき

8知っておいてください

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなった時は、下表にしたがって確認していただき、それでも作動しない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

万一異常（ヒューズ溶断など）が起きましたら、必ずお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。ご自身でヒューズの取り換えや修理をされますと、思わぬことで故障の範囲を大きくすることがありますので特にご注意ください。

症状	確認項目
画面が次の何れかの状態になっている場合 ●真っ暗で全く光らない ●光っているが、画面が表示されない ●画像が乱れる ●画像の色がおかしい ●ライトを点灯しても夜画面にならない	画面消に設定されていませんか？ ⇒ 現在地 、 NAVI などを押してください。 画質の設定は適切ですか？ ⇒  を“ビツ”という音が鳴るまで押し、設定を確認してください（P.1-24参照）。 解消されないときは、エンジンスイッチを 0 (OFF) → I (ACC) または II (ON) にしてください。 それでも解消されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
テレビの画面が表示されない場合	車の電源のスイッチは入っていますか？ ⇒エンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) にしてください。 ヒューズは切れていませんか？ ⇒ヒューズの位置は、車の取扱説明書を参照してください。 車は完全に停止していますか？ ⇒車を完全に停止させてください。
ナビゲーションの画面が表示されない場合	ナビゲーション本体の電源が入っていますか？ ⇒正しく確実に接続されているかどうか確認してください。 画面がナビゲーションの映像に切り替わっていますか？ ⇒モードをナビゲーションに切り替えてください。（P.1-21 参照） それでも解消されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
自車を移動させても地図がスクロールしない場合	現在地画面になっていますか？ ⇒「基本編」を参照して、現在地表示にすると地図がスクロールします。
自車マークが表示されない場合	現在地画面になっていますか？ ⇒基本編を参照して、現在地表示にすると自車マークが表示されます。
目的地が接近しても音声案内がない場合	案内中になっていますか？ ⇒応用編を参照して、案内中にしてください。 音量が消音になっていませんか？ ⇒応用編を参照して、聞きやすい音量に設定してください。
地図をタッチしてそのまま押し続けても、連続して地図がスクロールしない場合	走行中に地図をタッチしていませんか？ ⇒走行中は安全のため、連続操作はできません。 停車してお使いください。

症状	確認項目
地図をタッチしても、地図がスクロールしない場合	地図をタッチした時に、地図データの読み込みが発生すると、地図データの読み込みが完了するまでの間、しばらくスクロールが停止します。故障ではありませんので、地図をタッチしたまま、しばらくお待ちください。
地図をタッチして、地図スクロール中に途中で地図が止まる場合	スクロール中に地図データの読み込みが発生すると、地図データの読み込みが完了するまでの間、しばらくスクロールが停止します。故障ではありませんので、そのままご使用ください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある場合	故障ではありませんので安心してご使用ください。 ⇒液晶特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。
エンジンスイッチをONにした後しばらく画面にムラがある、または画面が暗い場合	寒冷時、液晶のバックライトの特性上、光ムラが発生することもあります。エンジンスイッチをONにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。
画面がみにくい場合	画面の明るさ、コントラスト調整は適正ですか？ ⇒P.1-24を参照して明るさ、コントラストを調整してください。 ディスプレイの角度調整は適正ですか？ ⇒P.1-20を参照して画面の向きを見やすい位置にしてください。
ディスクを入れることができない場合	車の電源スイッチは入っていますか？ ⇒車のキーを「I(ACC)」または「II(ON)」の位置にしてください。
音飛びをしてしまう場合	結露していませんか？ ⇒換気してからご使用ください。 ディスクがひどく汚れていませんか？ ⇒ディスクをクリーニングして入れてください。
ディスクを取り出せない場合	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
片側のスピーカーしか音が出ない場合	音量の調節は正しいですか？ ⇒左右音量調節をして確認してください。
ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されない場合	ポータブルオーディオの電源は入っていますか？ ⇒ポータブルオーディオの電源を入れてください。 ポータブルオーディオは再生されていますか？ ⇒ポータブルオーディオを再生してください。

症状	確認項目
SDメモリーカードがSDスロットから取り出せない場合	SDメモリーカードを押さずに取り出そうとしていませんか？ ⇒SDメモリーカードを押して取り出してください。
SDメモリーカードがSDスロットに差し込めない場合	SDメモリーカードの差し込み方向は正しいですか？ ⇒SDメモリーカードの差し込み方向を確認して正しい方向で差し込んでください。 SDスロット内に異物が混入していませんか？ ⇒SDスロット内に異物が混入していないか確認してください。
地図画面、オーディオ画面が乱れる、ノイズが入る	電氣的ノイズを発生させる電装品を本機の傍で使用していませんか？ 高電圧を発生させて作動するもの (例) マイナスイオン発生器 電磁波を発生するもの (例) 携帯電話、無線機 ⇒本機から出来るだけ遠ざけてご使用ください。 遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。

地上デジタル放送の電波について

つぎのような場所では、映像が静止したり音声が途切れる場合があります。

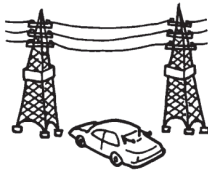
ビルとビルの間



上空を飛行機が通過
電車が近くを通過



送電線の付近



山かげ、放送局から遠いところ



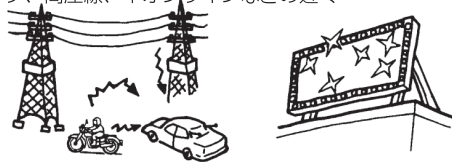
山や木立のかげ



トンネル内



自動車、バイク、高圧線、ネオンサインなどの近く



ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近く

車内の無線機を使用している
場合



故障とお考えになる前に

知っておこう
デジタル

保証とアフターサービス

■保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

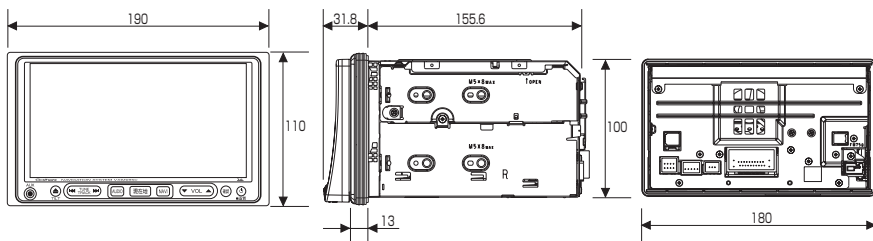
- 調子が悪いとき …………… まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき ……… 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …………… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …………… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …………… 製造打ち切り後、最低6年間保有しています

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください

仕様

デュアルサイズメモリーナビコンポ
寸法 : 190 mm×110 mm×168.6 mm (幅×高さ×奥行)
質量 : 2450 g
供給電源電圧 : DC 12 V (試験電圧14.4 V)
消費電流 : 4 A以下 (電源電圧13.2 V、FMモード0.5W出力時)
動作温度 : -20℃～+55℃

(本体部)

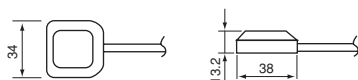


GPSアンテナ

寸法	: 34 mm×13.2 mm×38 mm (幅×高さ×奥行)
質量	: 25 g (ケーブル、コネクタを除く)
供給電源電圧	: DC 5 V
消費電流	: 30 mA以下
動作温度	: -30℃~+80℃

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

(GPSアンテナ)



< 共通部 >

電源電圧 : DC 12V(試験電圧 144V)⊖アース
 消費電流 : 4 A以下(0.5 W×4 ch 出力時)
 最大出力 : 35 W×4 ch
 定格出力 : 18 W×4 ch(10% T.H.D.)
 適合スピーカー
 インピーダンス : 4 Ω

< FMチューナー部 >

受信周波数範囲 : 76.0 MHz~90.0 MHz
 実用感度 : 18 dB (μ V) 以下
 信号対雑音比 : 46 dB以上 (30 kHz L.P.F.使用)

< AMチューナー部 >

受信周波数範囲 : 522 kHz~1629 kHz
 実用感度 : 34 dB (μ V) 以下
 信号対雑音比 : 42 dB以上 (30 kHz L.P.F.使用)

< TVチューナー部 >

受信チャンネル : UHF13~62チャンネル 地上デジタル (ワンセグ放送)
 入力インピーダンス : 50 Ω
 アンテナ : 1ch

< CDプレーヤー部 >

信号対雑音比 : 65 dB以上 (IHF-A使用)
 全高調波歪率 : 0.3 %以下
 周波数特性 : 20 Hz~20 kHz (\pm 3 dB以内)

< 表示部 >

液晶パネル : 7 V型低反射タッチパネル
 画面寸法 : 156.6 mm×176.9 mm×82.4 mm
 (幅×対角×高さ)
 ドット数 : 28万800ドット
 (縦234×横1200)
 有効画素数 : 99.99 %
 表示方式 : 透過型カラーフィルタ方式
 駆動方式 : TFT (薄膜トランジスター)
 アクティブマトリクス方式
 タッチパネル : 抵抗膜式タッチパネル

用語さくいん

【あ行】

新しく探すカスタマイズ4-17
案内再開 3-27
案内中止 3-27
一般優先 2-29
居眠り防止案内 4-14
迂回メモリ 4-32
オーディオ操作画面 7-4
音量設定 3-28
オンルートスクロール 3-23

【か行】

カーブ警告 4-12
拡大表示 2-19
画面の設定 1-27
画面の調整 1-23
カレンダー 5-17
簡単初期設定ガイド 2-1
季節規制メッセージ 4-14
季節規制回避 2-25
距離補正 4-52
距離優先 2-29
緊急警報放送 (EWS) 7-18
県境案内 4-12
現在地画面 2-9
交差点拡大図 2-32、4-4
高速時の自動音量切替 3-28
高速分岐模式図 2-34、4-4
高速略図 2-20、2-35
交通事故多発地点マーク 4-10
交通情報 7-23
合流警告 4-12

【さ行】

再探索 3-4、3-11、3-18
シーズンレジャーランドマーク 4-8
自転車マーク 2-9、4-10
施設ランドマーク 3-46
自宅に帰る 2-27

自宅の登録 4-29
自動再探索 4-14
自動補正 4-52
使用データ 4-53
車両情報設定 4-15
周辺迂回 3-18
周辺施設 3-44、4-3
乗降IC 2-28、3-16
ショートカット設定 4-18
推奨 2-29
スケール表示 2-9
全ルート 2-28、2-31
走行軌跡 3-26
操作音 1-28

【た行】

タッチスイッチ 1-13、2-9
他モード時の案内 4-13
地図スクロール時の地名表示 2-10、4-9
通過道路 3-11
提携駐車場 3-30
デモ 3-22
テレビ 7-5
電話帳 5-16
到着予想時刻 2-28、2-30、4-3
特別メモリ地点 4-29
時計表示 1-29、2-9
都市高マップ 2-36

【な行】

ナビ設定 4-1
ナビ補正 4-16
ナビメニュー 2-7
ノースアップ 2-14

【は行】

ハートフル音声 4-13
販売店 5-13
番組表 7-14
昼画表示 1-23

ヒント	3-3
踏切警告	4-12
フロントワイド	4-5、4-6
別ルート	2-29
ヘディングアップ	2-14
方位マーク	2-9、2-14
方面名称	2-34

【ま行】

マップコード	3-43
右画面	2-18
メモリ地点	3-41、4-19
メンテナンス	5-6
目的地	2-24、3-4
目的地消去	3-9
目的地直線表示	4-9
目的地履歴	4-16

【や行】

有料優先	2-29
よく行く場所	2-27
夜画表示	1-23

【ら行】

ラジオ	7-20
リアカメラ	6-1
リアルワイドマップ表示	4-9
履歴	3-42
立体交差点拡大図	2-33
立体ランドマーク表示	4-8
料金案内	4-10
ルート案内	2-22、3-27、8-5
ルート情報画面	3-21
ルート探索	2-24、8-3
レーンリスト	2-33、4-2

【わ】

割込情報	4-46、4-47
ワンセグ放送	7-5

【アルファベット/数字】

AM	7-20
AUTO.P	7-11、7-21
AUX	7-39
CDプレーヤー	7-24
FM	7-20
FM図形	4-46
FM多重	5-2
FM文字	4-45
GPSマーク	2-9
MP3/WMAプレーヤー	7-27
QQコール	4-54
SDメモリーカード	6-5
SOUND	7-2
TILT	1-20
VICS	4-38
VICSタイムスタンプ	4-41
VTR	7-19
2画面	2-17
2Dツイン	2-17
3D交差点拡大図	4-5
3D高速分岐案内	2-34
3Dツイン	2-15、2-17
5ルート	2-28

凡例

表示①	表示②	内 容	表示①	表示②	内 容
		高速・都市高・有料道路			病院・医院
		国道			電力会社・発電所
		主要地方道			電話局
		一般都道府県道			銀行・信用金庫・農協
		その他の道路 (巾5.5 m 以上)			デパートなど
		その他の道路 (巾3.0 m以上)			ホテル・旅館など
		JR			ビル
		鉄道			工場
		水域			灯台
		都道府県界・市区町村界			神社
		緑地			寺院
		駅舎・敷地			教会
		官公庁			霊園・墓地
		都道府県庁			城跡
		市役所・東京23区区役所			名所・観光地など
		町村・東京以外区役所			ゴルフ場
		警察署			スキー場
		消防署			海水浴場
		郵便局			アイススケート場
		スマートインターチェンジ			マリナー・ヨットハーバー
		インターチェンジ			陸上競技場・体育館
		サービスエリア			キャンプ場
		パーキングエリア			公園
		信号機			温泉
		駐車場			山
		駅			その他の施設
		フェリーターミナル			HONDA Cars店
		港湾			ボトルネック踏切
		空港・飛行場			踏切
		学校			交通事故多発地点
		道の駅			
		幼稚園			

- 表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。
- 表示①はリアルワイドマップ表示 (P.4-9参照) で表示され、表示②は通常地図で表示されるマークです。

パスワードラベル貼り付け欄



この欄にパスワードラベルを貼付のうえ、大切に保管してください。